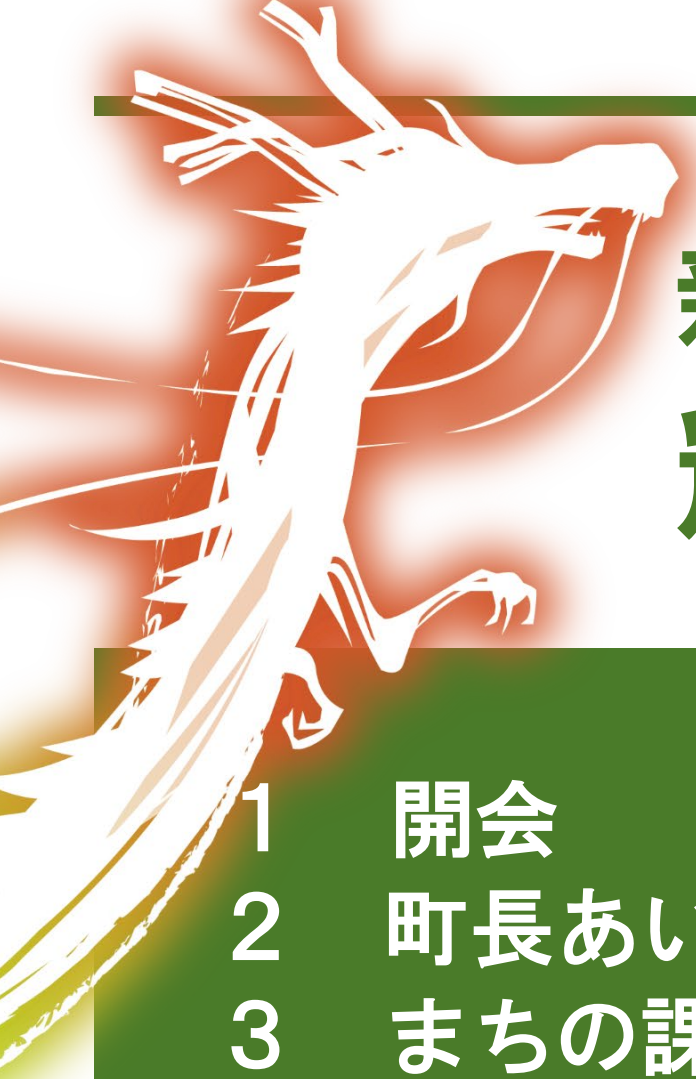


新時代へのチャレンジ！
輝竜の郷づくり懇談会

プログラム

1　開会
2　町長あいさつ
3　まちの課題・社会潮流
4　第六次竜王町総合計画
5　竜王町コンパクトシティ化構想
6　竜王小学校の移転新築
7　質疑応答
8　閉会

これまでのまちづくり

平成２８年度

“わがまち竜王町”まちづくりタウンミーティング（３２集落）
- 明るく元気で活力溢れる強いまち竜王町
- 次世代に誇れる竜王町

“わがまち竜王町”まちづくりフォーラム（総合運動公園）
- 若者定住のまち明るく元気で活力あるまちづくりをめざして
- 「活力」「安心」へのそれぞれ４つのチャレンジ

平成３０年度

コンパクトシティ化検討町民ワーキングおよび懇話会の開催
（各４回開催）

令和　元　年度

まちづくり意見交換会（町内５会場）
- 竜王町コンパクトシティ化構想（案）について

第六次竜王町総合計画策定に向けた町民意識調査の実施および
総合計画審議会の開催

令和　２　年度

竜王町コンパクトシティ化構想の策定

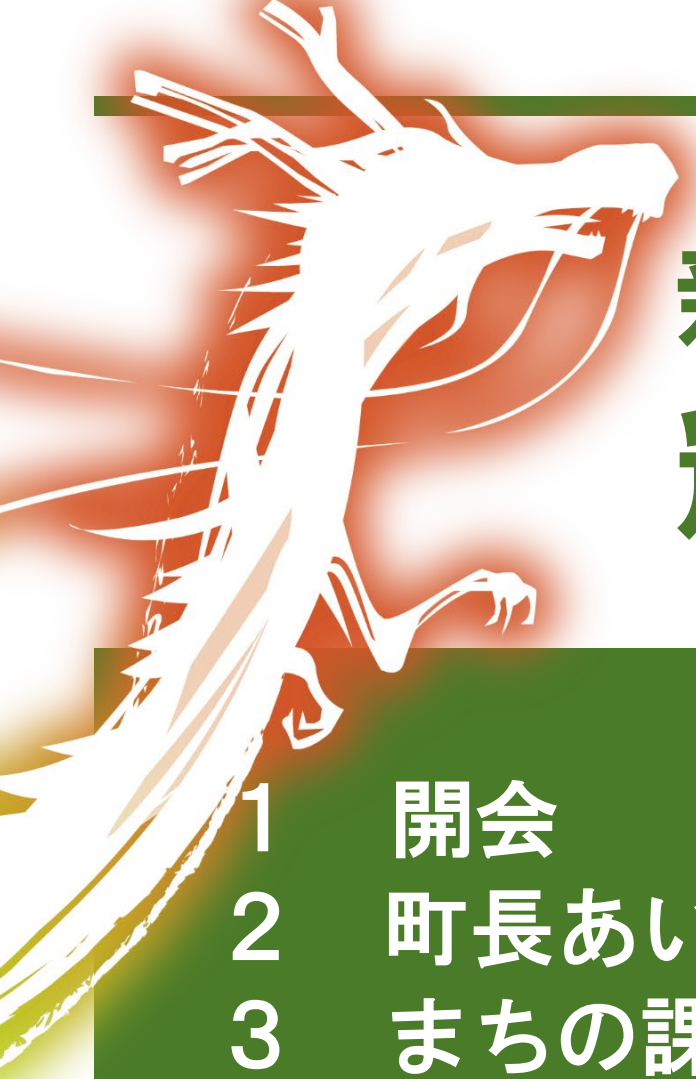
第六次竜王町総合計画の策定（議会議決）

これまでのまちづくり

- 企業誘致の推進
  - 滋賀竜王工業団地（７社）
  - 滋賀山面工業団地（９社）
- 中学卒業まで医療費無償化
- 民間活用による集合住宅建設
- ２つの道の駅の機能拡充
- ふるさと納税制度による増収・特産品支援
- 防災行政無線（しるみる竜王）の整備
- チョイソコりゅうおうの運行
- あえんぼクリニックの開所
- ダイハツ竜の子ファミリー車

滋賀竜王工業団地

ダイハツ竜の子ファミリー車



新時代へのチャレンジ！
輝竜の郷づくり懇談会

プログラム

1　開会
2　町長あいさつ
3　まちの課題・社会潮流
4　第六次竜王町総合計画
5　竜王町コンパクトシティ化構想
6　竜王小学校の移転新築
7　質疑応答
8　閉会

まちの課題・社会潮流

まちの課題

○人口減少・少子高齢化
　の加速
○自然災害への対応
○公共施設の老朽化　等

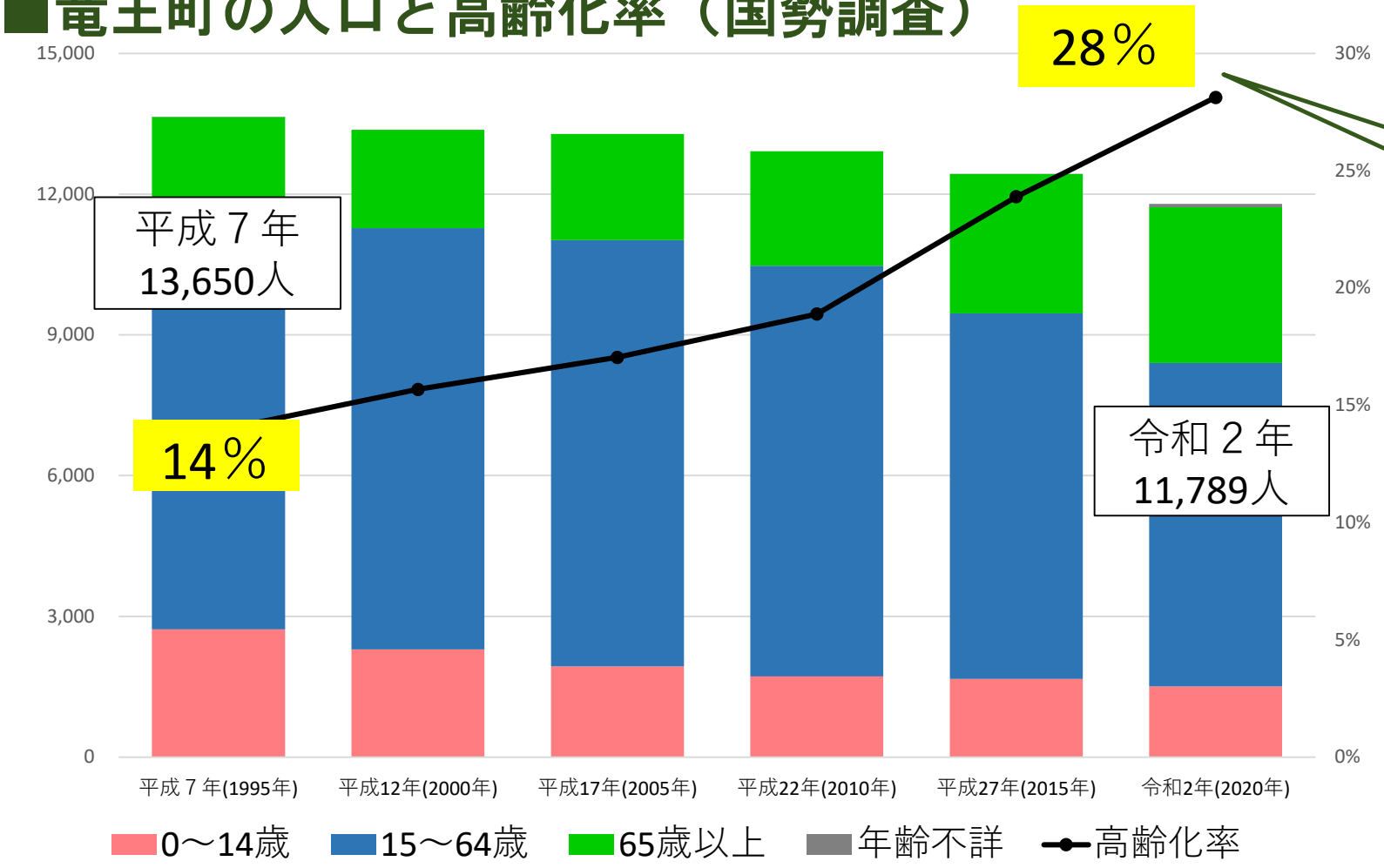
社会潮流

○ポストコロナへの対応
○デジタル化の進展
○脱炭素社会の実現　等

平成29年台風21号の
接近に伴う新川決壊

人口減少・少子高齢化の加速

■竜王町の人口と高齢化率（国勢調査）



子どもやまちづくりの担い手の人口が減り、高齢化率が上昇

第六次竜王町総合計画

竜王町の未来設計図

策定までの経過

前総合計画の検証・町民意識調査
パブリックコメント・審議会

第六次竜王町総合計画

（令和３年３月議会議決）

１０年後のあるべき姿

若者も暮らしたい
希望かなえる　輝竜（きりゅう）の郷
～　心弾む　新時代へのチャレンジ　～

まちづくりの考え方（基本理念）

次世代に誇れるまちづくり

〇豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
〇みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり
〇地域特性を生かす持続可能なまちづくり
〇協働によるまちづくり

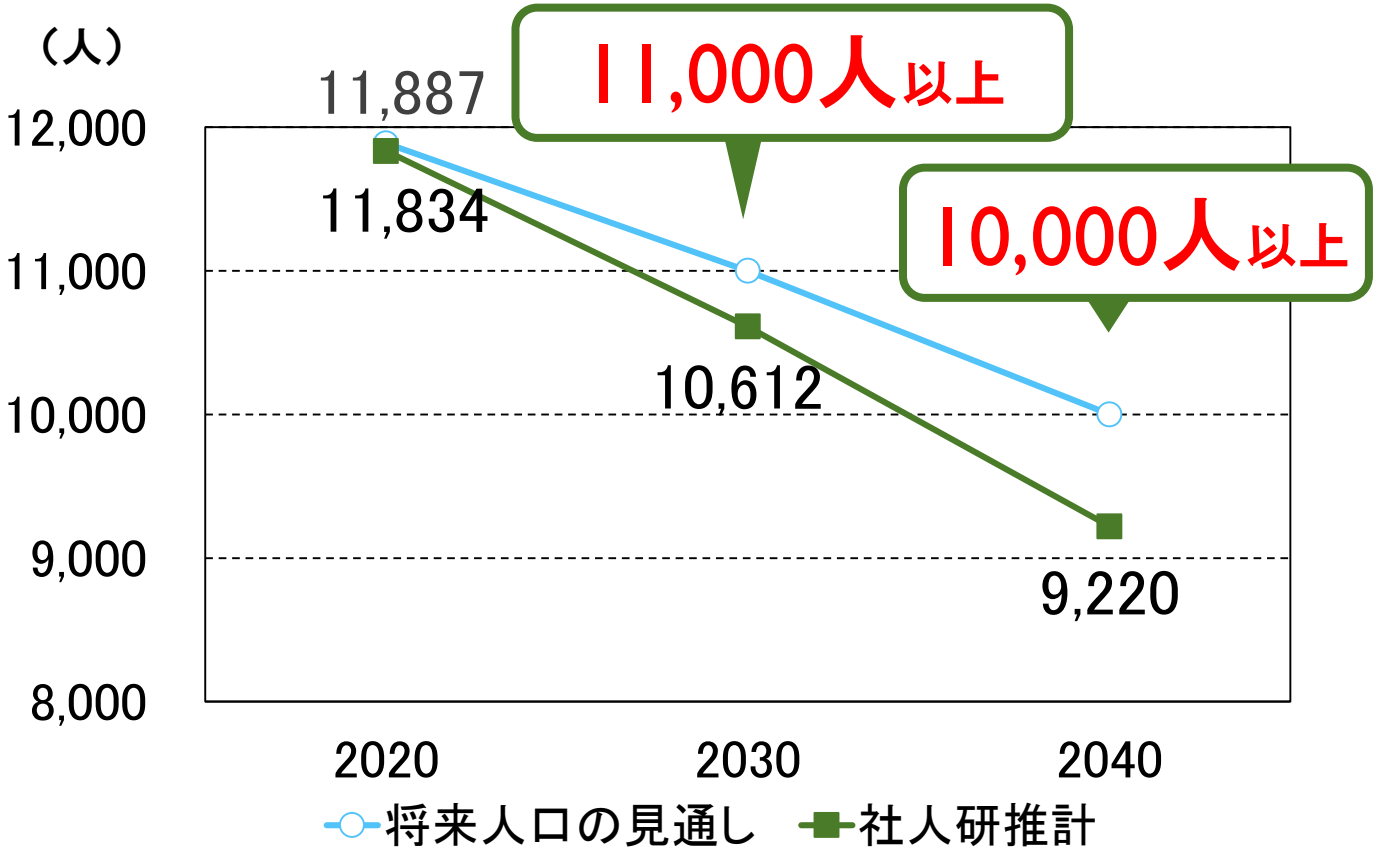
将来目標人口（将来人口の見通し）

【2030年目標】

①人口11,000人以上
②生産年齢人口（15～64歳）の比率　56%以上

≪実現のための主な取組≫

- ■新たな企業の誘致
- ■子育て・教育環境の充実
- ■定住地として魅力を発信
- ■新たな人口の受け皿の確保



まちづくりの基盤
（土地利用構想）

土地利用の全体方針

安心・安全を重視しつつ、
①中心核と各拠点へのバランスの良い機能配置
②町内外の拠点をつなぐ道路軸の強化
③農商工、住などの地域特性を生かす土地利用

まちづくりの“核”
→利便性が高く多様な交流を育む中心核

まちづくりの“拠点”
→まちの活力を次世代へ引き継ぐ魅力ある拠点

まちづくりの“軸”
→全体の魅力向上のため核･拠点を結ぶ道路

３つのまちづくり（政策）分野

やさしさ
安心して暮らせる
まちづくり

豊かさ
活力あふれる
まちづくり

つながり
みんなで進める
まちづくり

10年後のあるべき姿
若者も暮らしたい
希望かなえる　輝竜の郷
～心弾む　新時代へのチャレンジ～

３つの重点プロジェクト

- “豊かさ”×“やさしさ”向上プロジェクト
- “つながり”×“豊かさ”向上プロジェクト
- “やさしさ”×“つながり”向上プロジェクト

総合計画と竜王町コンパクトシティ化構想の関係

“若者も暮らしたい”と思えるまちづくりのために

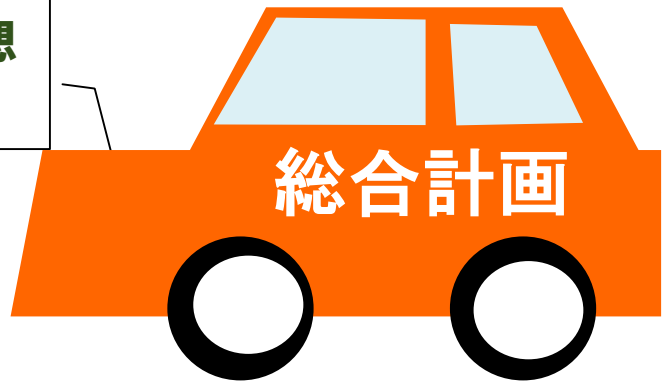
原動力

竜王町コンパクトシティ化構想

若者も暮らしたい
希望かなえる　輝竜の郷
～　心弾む　新時代へのチャレンジ　～

エンジン＝コンパクトシティ化構想
（総合計画を進めるための原動力）

めざすべき未来へ



竜王町コンパクトシティ化構想策定までの経過

平成28年度
まちづくりタウンミーティング・まちづくりフォーラム

平成30年度
コンパクトシティ化検討町民ワーキング・懇話会

竜王町コンパクトシティ化構想（案）

令和元年度
まちづくり意見交換会（町内５会場）

竜王町コンパクトシティ化構想

竜王町コンパクトシティ化構想の考え方

≪中心核≫

■教育施設等の集約
■交流空間の整備
■民間施設の誘導
■居住基盤の整備

ネットワーク

■公共交通網の整備
■道路網の整備
■情報ネットワークの整備

≪集落・団地≫

■自治会機能の維持
■若者世代の定住
■高齢世帯の安心
■同居や近居

中心部だけを
活性化するもの
ではなく…！

町全体のバランスの取れた発展
魅力あるまちづくり

既にスタートしている取組

≪チョイソコりゅうおう≫ ≪防災行政無線・しるみる竜王≫

中心核整備について

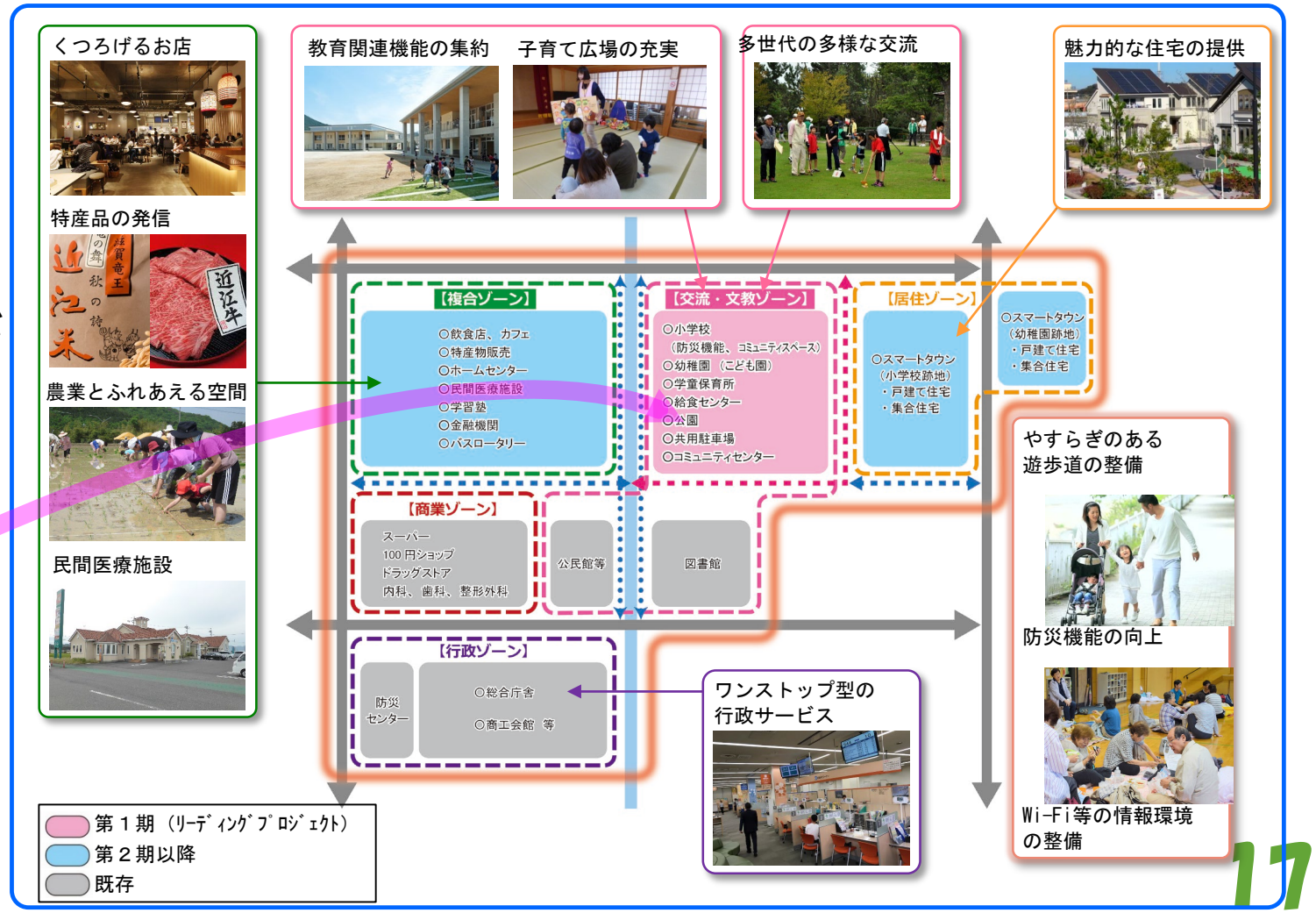
役場周辺一帯を『中心核』に位置づけ

【テーマ】
「利便性が高く、多様な交流を育む中心核」

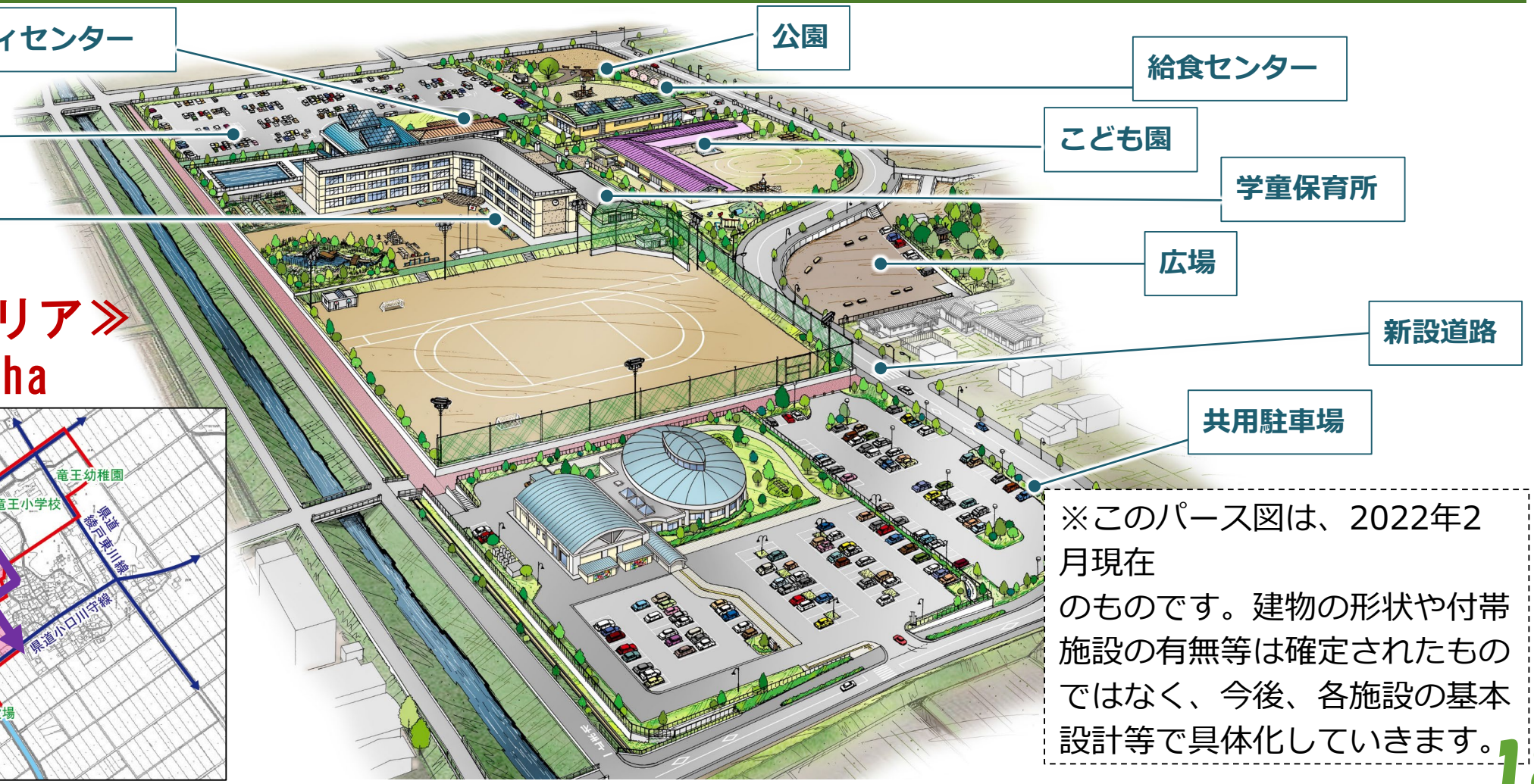
【５つのゾーン設定の考え方】
町民ワーキングや懇談会でご意見を伺いながら、中心核に導入すべき機能や土地利用のゾーニングを考え、これに基づき各ゾーンと機能配置を設定

リーディングプロジェクト

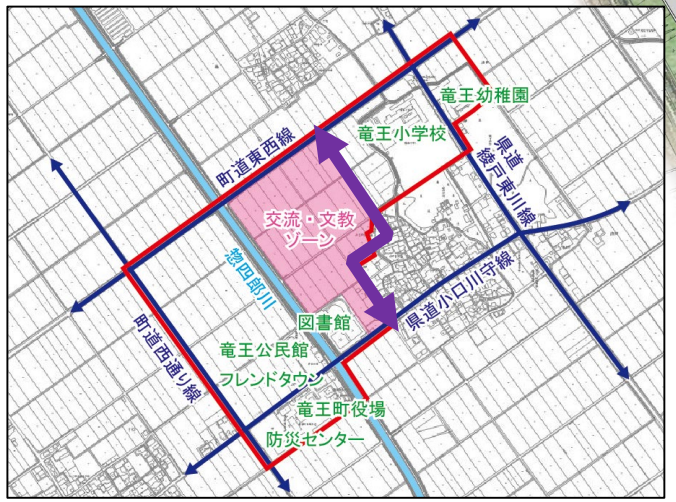
■交流・文教ゾーンの整備
（新小学校の建設を最優先）



交流・文教ゾーンの整備概要



≪整備エリア≫
約8.3ha



※このパース図は、2022年2月現在
のものです。建物の形状や付帯施設の有無等は確定されたものではなく、今後、各施設の基本設計等で具体化していきます。

交流・文教ゾーンの整備概要

≪交流・文教ゾーンの整備により期待できる効果≫

① 商業ゾーン・複合ゾーン・居住ゾーンと合わせての整備により将来にわたって町全体の暮らしやすさが向上

② コミュニティセンターや公園に防災機能を持たせることにより、町全体の防災力が向上

③ ゾーン内の車両通行制限による子どもや利用者の安全確保

④ 公民館・図書館・役場に近い場所への整備により施設間の連携が深化

⑤ 現小学校・幼稚園跡地への住宅地整備による若者定住の促進

交流・文教ゾーンの整備概要

≪浸水への備え≫

滋賀県防災情報マップ－地先の安全度マップによる２００年に１度の確率の降雨による最大浸水深を想定した場合でも浸水しない十分な対策を講じ、災害時には指定避難所としての機能を十分に発揮

- 盛土造成
- 河川とゾーンの間に管理用道路

交流・文教ゾーンの整備概要

≪スケジュール≫

年度 / 整備項目	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
小学校	建設工事		開校					
共用駐車場	整備工事		完成					
新設道路	整備工事		供用開始					
学童保育所			建設工事		開所			
コミュニティセンター				建設工事	開所			
公園				整備工事	供用開始			
認定こども園				建設工事		開園		
給食センター							建設工事	稼働

交流・文教ゾーンの整備概要

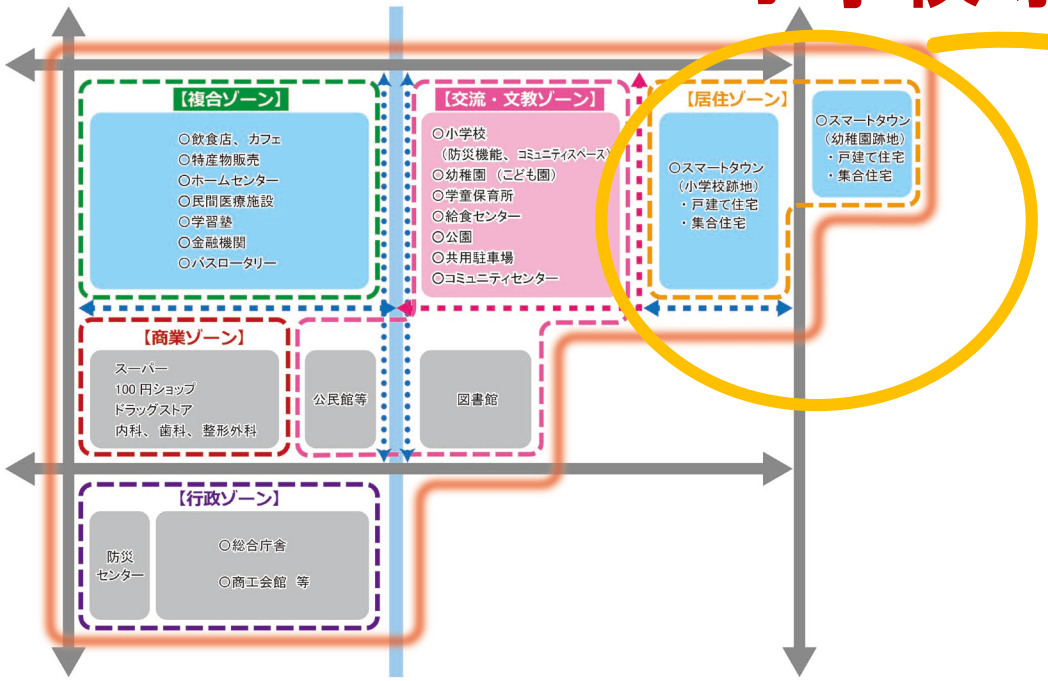
≪整備費用≫

項　目	概算費用
小学校建設費用※施設共用するコミュニティセンターを含む	30.0億円
その他施設建設費用※こども園、学童保育所、給食センター	12.6億円
用地取得・造成費用※共用駐車場・公園を含む	7.4億円
道路・インフラ整備費用	5.0億円
総整備費用	55.0億円

・**総事業費用から国の補助金等を除いた分が町の負担になります。**
・標準的な土木設計費、築造費等を用いて算出したものです。

交流・文教ゾーンの整備概要

≪小学校等の跡地利用について≫



魅力的な住宅の提供

- 戸建て住宅
- 集合住宅

・新しい小学校を始めとする教育施設・商業施設・公共施設などに近接するゾーンであることを強みとした住宅地
・民間活力を誘導することにより、戸建て住宅や集合住宅などニーズやライフスタイルに応じた住宅を提供します。
・跡地（公共用地）を住宅開発事業者へ売却することによる売却益が収入として見込めます。

竜王小学校整備検討経過について

≪経過≫

H23　竜王小学校の大規模改修を検討する中で、将来的な費用対効果も考慮した結果、10年後を目途に竜王小学校を建て替える方向性を町の方針として議会へ報告

↓

H24
H25　竜王小学校の小規模改修

↓

H29.4　教育委員会内に「教育施設の今後のあり方検討プロジェクトチーム」を設置

協議内容
・公共施設等総合管理計画を踏まえ、教育施設の課題整理

↓

H29.11　「教育施設の今後のあり方検討委員会」を設置

構成員　11名
校長、保護者代表、自治会長、社会教育委員、行政機関経験者、事業所関係者、学識経験者、住民代表

検討内容
・老朽化が進む教育施設の内、特に喫緊の対応が必要な竜王小学校の現状と課題の整理と解決に向けた今後のあり方を検討

H31.2　「竜王町の教育施設の今後のあり方についての検討結果」を町長に報告

H31.2.15　手交

R元.7　竜王小学校の**移転新築**を**町の方針**として固める。

竜王小学校の整備方針

◆長寿命化改修ではなく、建て替えとする。⇒新築

◆当面は竜王西小学校との統合は考慮しない。（竜王西小学校については概ね令和10年頃の大規模改修時に検討を行う）

◆防災・コミュニティ等の機能を併設した複合施設とし、他の教育施設の立地も想定しながら、学びと交流を生み出す。

◆現在の場所では敷地拡大に制限があることから、公民館・図書館等との相乗効果を期待し、中心核に建て替え⇒移転

◆令和7年の開校をめざす。

R2. 8　整備方針を踏まえて、「竜王小学校基本構想」を策定

R3.7　竜王小学校建設基本計画策定委員会の設置

①構成員　１０名
学校長、小学校運営協議会、小学校ＰＴＡ、地域・保護者代表、社会教育委員、知識経験者、学識経験者

②検討内容
校舎、グラウンド、体育館、プールの配置や形状、大きさについて、様々な視点から検討を進める。

③意見聴取
教職員、児童、コミュニティ・スクール学校運営協議会

④令和４年３月末に基本計画策定（予定）

移転新築により期待される効果

■学校施設の環境向上

・校舎、グラウンド、体育館等の一体整備により教育環境が向上する。

■工事期間中の教育環境

・授業や行事等の学校教育への影響がない。仮設校舎の必要がない。

■通学時の安全確保

・スクールバスや送迎時の乗り降りに交通量の多い道路の横断がなくなる。

■周辺の教育施設との連携強化

・こども園、学童保育所、給食センター、図書館、公民館等が近接することで、連携がしやすい。

■駐車場の確保

・現在の小学校敷地の周囲の状況から連続して土地を確保することが困難

・学校行事開催時や避難所開設時の駐車スペースを確保できる。

次世代を担う子どもたちにふさわしく
児童や教職員、保護者や地域の願いのこもった学校をめざして

（１）整備のコンセプト

竜王町のこれまでのコミュニティ・スクールとしての取組や地域の避難場所としての重要性などを踏まえると、新たな場所での建て替えを前提に考えていく上で、これからの学校には**『地域とともにある学校』**という視点は不可欠

また、竜王町教育行政基本方針の合言葉である**『キラリと光る教育で竜王の人づくり・まちづくり』**を踏まえ、整備のコンセプトを以下の通り設定

～竜王らしく　キラリと輝く　『地域とともにある学校』づくり～

（２）整備の基本目標

以下の３つの柱、１１項目を整備の基本目標とする。

１ あたたかさとやさしさのある学校

１)すべての人にとって安心・快適な学校
２)交流と対話があふれる学校
３)自然と調和する『木（木材）』を生かした安らぎのある学校
４)環境にやさしい学校

※ □ については、この後 説明

～竜王らしく　キラリと輝く　『地域とともにある学校』づくり～

２ 学びがつながる・広がる学校

１)新しい価値を創造する学校
２)多様なスタイルで、主体的・対話的で深い学びを実現する学校
３)多様なつながりの中で学ぶ学校

３ 地域とともにある学校

１)地域と学校の協働を進めるコミュニティ・スクールとしての学校
２)地域とともに郷土（ふるさと）を大切にする学校
３)子ども達と地域の人々を守る安心・安全な学校
４)複合施設の核となる学校

1　あたたかさとやさしさのある学校

1-3）自然と調和する『木（木材）』を生かした安らぎのある学校

▶ 普通教室等の内装は可能な限り木質化し、温かみのある空間とする。
木材の積極的な利用によって快適であたたかい空間を提供することは、
ものを大切にする心を育てることに繋がる。

内装の木質化の参考事例

３　地域とともにある学校

3-2）地域とともに郷土（ふるさと）を大切にする学校

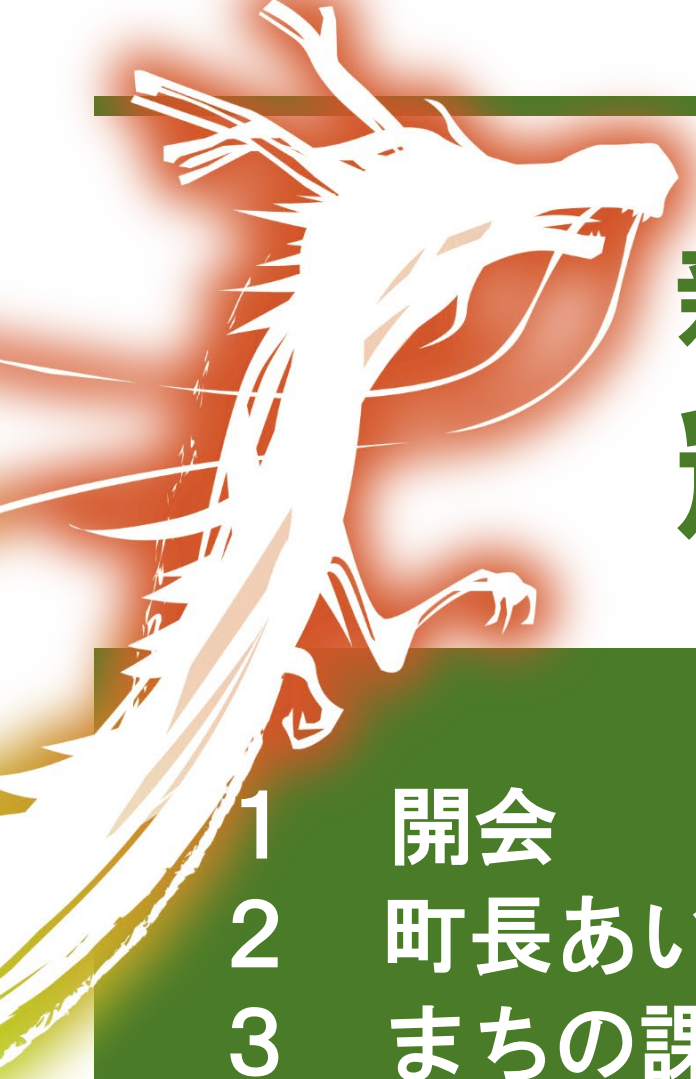
▶学級園・ビオトープ・岩石園など、現在の竜王小学校で地域の人々が共に築いてきたもの、そしてその想いを新小学校へ引き継いでいく。

現在の竜王小学校ビオトープ

現在の岩石園：竜王小学校（中庭）

竜王小学校の開校に向けてのスケジュール

令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
基本計画				
	基本設計 ・実施設計			
		建設工事		
				新校舎完成 ・開校



新時代へのチャレンジ！
輝竜の郷づくり懇談会

プログラム

1　開会
2　町長あいさつ
3　まちの課題・社会潮流
4　第六次竜王町総合計画
5　竜王町コンパクトシティ化構想
6　竜王小学校の移転新築
7　質疑応答
8　閉会

新時代へのチャレンジ！
輝竜の郷づくり懇談会

本日はご参加いただきありがとうございました

意見シートは出口で回収します

後日ＦＡＸ等で提出される場合は2月25日までにお願いします。

④